

「自己評価実施要項（案）（平成18年度実施分）」の作成について

「自己評価実施要項（平成17年度実施分）」からの変更点は以下のとおり

1 選択的評価基準A「研究活動の状況」の評価の実施に伴う変更

平成18年度実施分から選択的評価基準A「研究活動の状況」の評価を実施するため、当該基準に係る箇所について、全体的に文言を整理した。なお、主な変更点は以下のとおり。

「 評価の内容」 【関係箇所：P1】
選択的評価基準に係る記述について、大綱、基準の記述を踏まえるなど、文言を整理した。

「 選択的評価基準A、Bの自己評価」 【関係箇所：P6】
「研究活動の状況」の自己評価の際には、「研究活動実績票」を作成し、「選択的評価基準の自己評価のプロセス」に用いることとする文言を追加した。
また、「2 目的の達成状況の判断」の記述について、判断の際の考え方など文言を整理した。

「3 基準ごとの自己評価」 【関係箇所：P10】
(2)の全体の調整の記述について、基準1～11のみとすることが適当であることから、選択的評価基準に係る文言を削除するとともに全体の文言を整理した。

「自己評価の根拠となる資料・データ等例」（別紙2） 【関係箇所：P40~41】
「研究活動の状況」に係る自己評価の根拠となる資料・データ等例を追加した。

「研究活動実績票について」（別紙3） 【関係箇所：P43~49】
「研究活動の状況」を選択した場合に作成を必須としている「研究活動実績票」の趣旨、記述要領等をP43～45に、様式をP46～49に追加した。

2 その他

「 自己評価書の提出方法」 【関係箇所：P15】
「1 提出方法」の記述について、自己評価書と自己評価の根拠となる資料・データ等の内容で項立てし、提出方法がより明確になるよう文言を整理した。

その他全体を通じ、大綱、基準を踏まえるなど、文言の整理を行った。